

中西ふみとし通信

第11号

2025年3月

< 中西文寿の議会だより >

〒355-0814

滑川町みなみ野1-10-21

TEL : 080-7980-8059

3月定例議会報告

第245回定例議会が3月4日から12日までの会期で開催されました。31件の議案、1件の諮問、2件の発議が審議され、原案通り可決しました。なお、併せて審議された請願2件は不採択となりましたので合わせてご報告させていただきます。



< 3月定例議会審議結果 >

議案番号	件 名	結果	備考
議案第1号～ 議案第9号、 議案第11号 ～第22号、 議案第29号 ～第31号、 諮問第1号、 発議第1号、 発議第2号	議案多数につき、省略 (専決処分、刑法等の一部改正関係、行政手続き関係、町職員待遇関係6件、町税関係、家庭的保育事業関係、地域包括センター関係、太陽発電設備関係、水道及び下水道事業関係2件、補正予算関係6件、比企広域公平委員会関係、町道路線の廃止、町道路線の認定、人権擁護委員候補の推薦、町議会の個人情報保護関係、町議会会議規則関係)	全員賛成	-
議案第10号	滑川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	賛成多数 (賛成11、反対2)	反対議員 阿部議員、上野議員
議案第23号 ～第28号	令和7年度滑川町一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、水道事業会計、下水道事業会計予算の議定(一括採決)	賛成多数 (賛成11、反対2)	反対議員 阿部議員、上野議員
請願第1号	国に対し「消費税の適格請求書等保存方式(インボイス制度)廃止の意見書」の提出を求める請願書	不採択多数 (不採択10、採択3)	採択：阿部議員、 上野議員、中西
請願第2号	国に対し「消費税率を5%以下に引き下げる意見書」の提出を求める請願書	不採択多数 (不採択10、採択3)	採択：阿部議員、 上野議員、中西

請願審議

第1号「採択すべき」との立場。理由は以下の通り

インボイス制度は税の公平性を旨とするも、小規模事業者には過大な負担を与え、経営悪化や廃業を招いています。物価高騰下での負担増は深刻で、多様な業種に影響。創業意欲も低下させ、社会経済の基盤を揺るがす恐れがある。滑川町は創業者支援の観点からも、制度廃止を国に求めるべきだ。

公式サイト



Facebook



Instagram



滑川町議会議員 中西文寿

Mail : nakanishi.suppo789@gmail.com

2025年3月

< 中西文寿の議会だより >

請願審議

第2号「採択すべき」との立場。理由は以下の通り

物価高騰が住民生活を圧迫する中、消費税は低所得者に重い負担となっている。賃上げも物価上昇に追いつかず、実質賃金は減少傾向にある。請願は、住民生活を守り、地域経済を活性化するため、消費税率5%以下への引き下げを国に求めるもの。財源確保は可能であり、地方自治体として住民の声を国に届けるべきだ。

一般質問

今回登壇した議員は9名。中西からの質問は以下の通り

テーマ	質問	回答	所見
1 火災時の消火能力	①大規模な建物には防火水槽を設置させることになっているか。	延床面積1,000㎡で20 t、2,000㎡で40 tの防火水槽を設置させている。	延床面積1,000㎡以上の建物は町内に110棟あり、その多くが東武東上線以南に位置していると推測される。東武東上線を境界とした消火活動については、水源の確保方法が異なるため、事前の確認が必要である。東武東上線以南では防火水槽を、以北では河川や沼を水源として、ポンプ車や可搬ポンプを用いた広範囲な消火活動が想定される。月の輪の東武東上線以南は、国道254号線との間の比較的狭い範囲ではあるが、消火栓に依存する可能性が高く、大規模火災発生時のシミュレーションが不可欠である。 ループ配管（環状配管）は、複数経路で配管を接続し、一部で不具合が発生した場合でも断水を防ぐための措置であり、すでに実施済みとのことである。ただし、消防活動の観点からループ配管の充足性については、今後の検討課題としており、今後の進捗に期待する。
	②滑川や市野川から直接取水できるようにポンプなどの設備を備えておくことはできるか。また東武東上線を跨いで消火活動はできるか。	河川から直接取水できるように設備を備えることは大規模な工事となるため難しい。ポンプ車及び可搬ポンプを積載している消防車両を使って河川や沼、水路からのくみ上げることができる。東武線を跨ぐことは不可。	
	③太径管の敷設やループ配管の導入など配管網の強化は不要か。	現状の管径に対して大きな不満や苦情はいただいていない。ループ配管は現状町内の配水管の敷設は水が循環されるように考慮されている。	
	④消火栓の給水能力を増強するための工事は不要か。	町内には消火栓や防火水槽が点在しており、消火栓以外にも防火水槽や沼などの自然水利を利用して消火活動を行うので、消火栓の給水能力を増強しなくても水が出なくなることはないと考えている。	
	⑤どの程度の消火能力があるのかは、実際に見るのが一番説得力があると思う。同時放水のデモンストレーションをできないか。	放水訓練は地元住民の理解を得て毎年やっている。消火栓、防火水槽を利用した放水訓練は可能と思われる。	
2 滑川町国土強靱化地域計画における火災対策	①「消火力低下等により、大規模延焼が発生する事態」というリスクシナリオに対し、どのように対応しようとしているのか具体的に教えてほしい。	二次災害を発生させないため「人的被害を防ぐために防災拠点機能を強化し逃げ遅れを発生させないこと」「火元となるリスクを防ぐため空き家の適切な維持管理の指導を講じること」を挙げている。	提示された対応策は、リスクシナリオとの関連性において若干のずれが見受けられるが、火災対策としては必要な事項であると認識する。しかし、現時点では抽象的な内容に留まっており、更なる具体化が求められる。また、リスクシナリオに即した具体的な対応策も必要である。 来年度に地域防災計画の見直しと併せて、職員の初動マニュアル、避難所開設・運用訓練マニュアル等の検討を行い、防災・災害支援対策を構築することである。具体的かつ実践的な対策が策定されることを期待する。策定過程において協力できることがあれば、積極的に取り組みたい。